

高規格道路の早期の整備

高規格道路の整備状況



3【地域の観光振興を支える】

地域の豊かな自然を生かしたキャンプ場

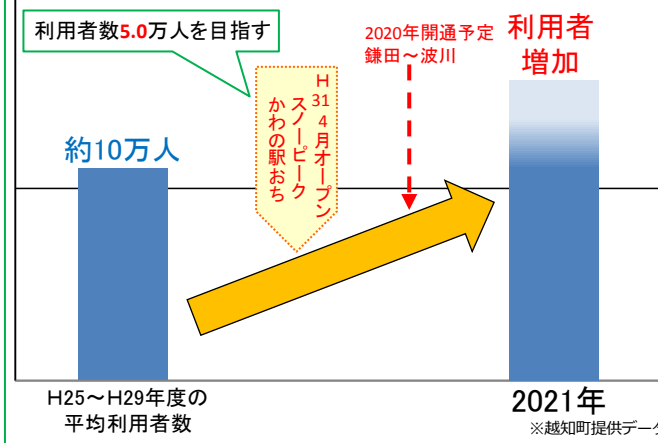
スノーピークかわの駅おち (H31.4月オープン予定)

【アウトドアメーカーと連携した宿泊施設の整備】

- ・コンテナ型宿泊施設を7棟設置

仁淀川を感じるアクティビティのラフティング体験

越知町の主な観光施設の利用者数



四国横断自動車道	H30.11.17 開通	片坂バイパス
四国横断自動車道	2019	中村宿毛道路平田～宿毛
高知東部自動車道	2020	高知南国道路高知～高知南

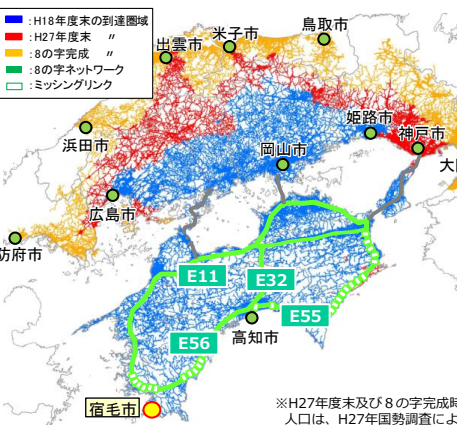
県西部・東部からのアクセスが向上

地域の観光を後押し

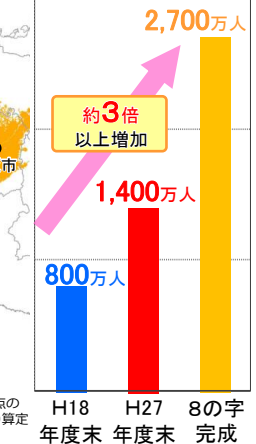
高規格道路の整備 観光施設へのアクセス向上による地域への誘客拡大

1【地域産業の活性化を支える】

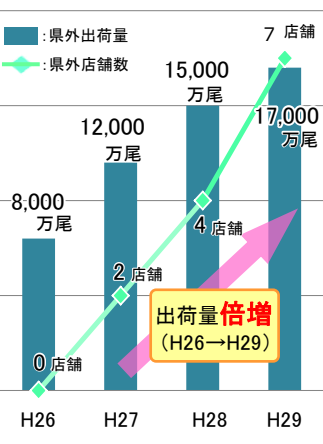
宿毛市を起点とした消費圏域(6時間到達)の拡大



消費圏域人口の変化



土佐の清水さばの県外出荷量と「土佐清水ワールド」の県外店舗数



県西部からの鮮魚の輸送エリアの拡大

・特産物を新鮮な状態で大消費地に届ける

▲宿毛市産の養殖ブリなど、幡多地域6市町村の食材を使用する飲食店
[土佐清水ワールド幡多ナリ 兵庫県神戸市中央区]

2【日々の安全・安心の確保】

北川村安倉 H30.7

▲ゆず園地周辺で土砂崩れが発生し、ゆず栽培に影響

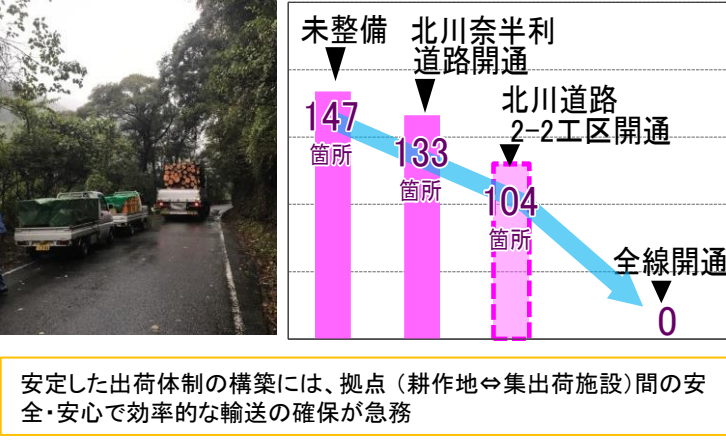
▲ゆず集出荷施設 (JA土佐あき北川柚子加工場)

北川村柏木 H29.8

▲平時でも、200kgを超える落石が発生

▲貯木場 (森林組合連合会奈半利共販所)

国道493号の落石・崩壊危険箇所の推移



高規格道路の整備 地域の特産物をより高鮮度で大消費地に届けることが可能に

高規格道路の整備 落石・崩壊箇所を回避し、安全・安心で効率的な輸送を確保

高知自動車道の通行状況



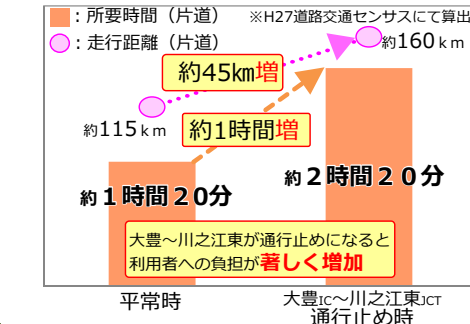
高知自動車道の被災状況



事前通行規制基準値(主な値)

通常時	(連続)	(時間)
	650mm	70mm
※H30.7.13対面通行開始から8.20まで	120mm	20mm
※H30.8.20から	135mm	30mm
※H30.9.13から	240mm	40mm

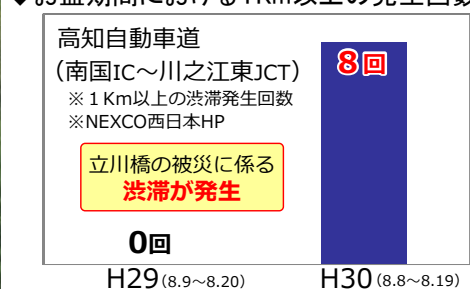
高知IC～高松西ICの所要時間と走行距離



対面通行による通行再開状況



お盆期間における1Km以上の発生回数



【大豊町立川地区】四車線による早期の全面復旧 【高知IC～須崎東IC】暫定二車線区間の四車線化

とさでん交通(株) 担当者の声

従来どおりの安全性や定時性が高い公共交通としての役割を果たすため、4車線化による早期の全面復旧が不可欠

◆高知県と県外をつなぐ高速バスの一日常りの便数

現状

■ 高知自動車道を利用

■ 高知自動車道の利用無し

11便/日

約93%(約91万人/年)が高知自動車道を利用

※高知県交通運輸政策課提供データ

※便数はH30.4時点、乗客数はH28年度データ

152便/日

課題

- 現在の高知自動車道は、対面通行であるがゆえ、反対車線への飛び出し事故やそれに伴う通行止めなどに運行中のバスが巻き込まれる事を懸念
- 以前に比べ少ない雨量で通行止めとなるため、突発的な迂回や運休に対応するため備えを高めている

対応・期待

- 従来どおりの走行の安全性や運行の定時性が高い公共交通として、お客様に利用して頂くためには、四車線による早期の全面復旧が不可欠

とさでん交通 自動車戦略部 高速課長 大黒 崇さん

道路利用者から見た高知自動車道の必要性

(公財)高知県観光コンベンション協会 担当者の声

安全性や定時性が向上する暫定二車線区間の四車線化は県西部への誘客拡大を図る上で重要

◆高知新港へのクルーズ客船の寄港回数

◆オプションツアーの主な先行

現状

H25 10回

寄港回数増加

H29 40回

平成29年には10万人以上が来港

行き先が高知市内に集中!

高知市内 92%

高知市外 8%

※高知県観光コンベンション協会提供データ

課題

- 県西部の四万十川などへのツアーが僅かながら商品化されているが、移動時間や定時性を考慮し、多くのツアーに取り入れる事が難しい
- ツアーバスの安全性や定時性が格段に向上する暫定二車線の四車線化と今年度開通する片坂バイパスや2020年度に予定されている高知JCT～高知南ICの開通と相まって、魅力ある県西部地域に多くの観光客に訪れて頂きたい

対応・期待

高知県観光コンベンション協会 受入部 チーフ 石元 浩之進さん

クワンタム・オブ・ザ・シーズ (H30.6.7高知)

【高知IC～須崎東IC】暫定二車線区間の四車線化 南海トラフ地震発生時における広域的な道路ネットワーク機能の確保

◆南海トラフ地震発生時の想定



【高知自動車道における南海トラフ地震発生時の想定】

●現状

- 高知道・強い揺れによる法面崩壊 など
- 一般国道等・津波による長期浸水 など
- ⇒道路ネットワークが長期間寸断

●四車線化後

- 高知道・被災の影響が少ない車線を活用した早期の通行再開
- ⇒重要度の高い防災拠点へのアクセスを確保
- ⇒広域的な道路ネットワークの寸断回避

四車線化

高知自動車道(暫定二車線区間)の利用者の声

傷病者や隊員の負担を軽減し、より迅速な搬送の実現には、四車線化が必要

現状

- 管外搬送では、搬送時間の短縮はもとより、傷病者や隊員の負担軽減や、救急車の空白時間の削減のために高知自動車道を利用

課題

- しかし、須崎市～高知市の間は二車線であり、事故や工事などにより通行止めとなった場合には、迅速な救急搬送が困難
- ドクターヘリが飛ばない時間や悪天候時においても、より迅速に搬送し帰署するためには、4車線化が必要だと日々感じている

対応・期待

◆高幡消防組合の搬送先割合

管外搬送 約4割

管内搬送 約6割

二車線区間を走行して救急搬送

高幡消防組合 消防本部 消防課長 佐々木 義人さん

※高知県医療政策課 提供データ

年間約3200件のうち約4割が高知市や土佐市への管外搬送

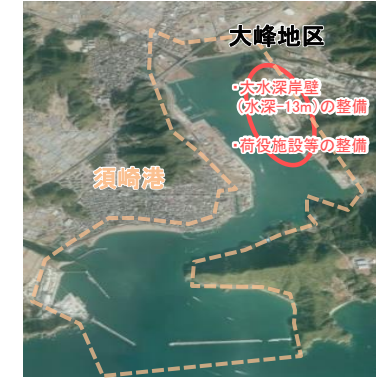
■物流の効率化を図る道路改良に不可欠な社会資本整備総合交付金 (国道494号の整備による生産拠点と物流拠点との連携強化)



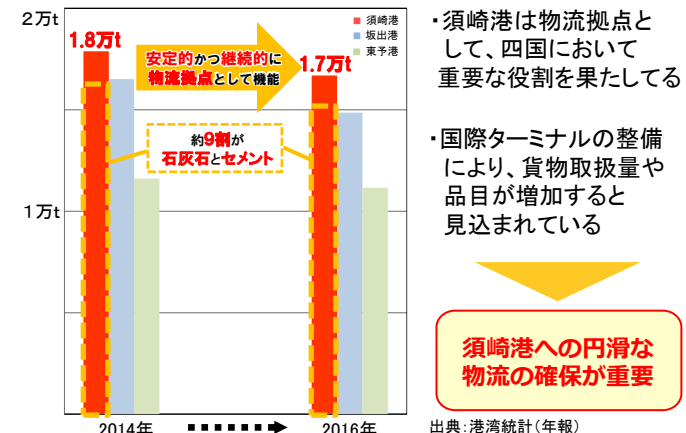
■国道494号の未改良区間の通行状況



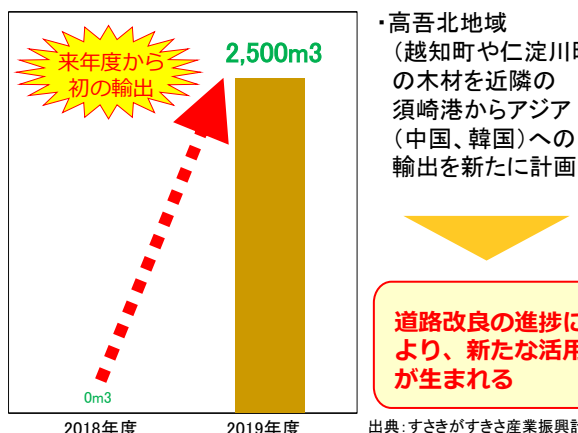
■須崎港の国際ターミナル機能の強化



■四国の重要港湾における取扱貨物量(上位3位)



■須崎港からの木材の輸出に向けて



■国道494号の利用者からの声

安全性の向上や安定的な輸送を行うためには、バイパスの整備や道路の改良が不可欠

現状 国道494号を利用して、1日のべ150台のトラックが須崎港までけい石を運搬。

課題 狭隘な箇所ではすれ違いが出来ず、運転に神経とともに、ストップ＆ゴーが多く、ドライバーや車両への負担が大きい。

必要性 須崎港まで安全で効率的な輸送には、国道494号の整備が不可欠です。

住友大阪セメントグループ
須崎鉱山・南勝森運送
代表取締役社長
宮下 耕一さん

■国道195号における防災対策の実施による 住民や観光客の安全な利用の確保に不可欠な防災・安全交付金



■国道195号の危険箇所の状況 ■平成30年7月豪雨における被災状況 ■住民の日々の利用状況

香南市物部町市宇
国道195号が全面通行止め(7/6~7/14)

安芸市
災害が多発する区間を走る市営バス
住民が利用する路線バスなど、日々の利用を支えている

■住民の日々の暮らしを守るためには着実な老朽化対策が必要

市町村が管理する道路施設定期点検結果 (2018年8月末)

判定	施設数	割合
Ⅲ+Ⅳ判定	1,149施設	14%
Ⅱ判定	4,787施設	57%
Ⅰ判定	2,403施設	29%

緊急又は早期の対応が必要

安芸市東地地区での事例
果樹農園(仕事場)
東地集落(住居)
果樹農園までのルート
ひび割れが路面まで貫通

・果樹農園へまでのルートが途絶すると、日常の手入れや収穫ができず、日常生活に影響が生じる(全面通行止めが約10日間発生したが、現在は仮橋により対応)